

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
コード番号 3853 URL <https://jp.asteria.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 洋一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
半期報告書提出予定日 2024年11月7日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,546	8.3	489	30.8	72	-	△88	-	△155	-	△126	-	△142	-
2024年3月期中間期	1,427	-	374	-	△3,546	-	△3,222	-	△2,345	-	△1,997	-	△1,987	-

	基本的1株当たり中間利益	希薄化後1株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△7.49	△7.49
2024年3月期中間期	△118.90	△118.90

- (注) 1. 基本的及び希薄化後1株当たり中間利益については、親会社の所有者に帰属する中間利益の数値を基に算出しております。
2. 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費±その他の調整項目（のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等）。
3. 前連結会計年度の連結子会社の異動によりデザイン事業を非継続事業に分類しています。これにより、前中間連結会計期間については売上収益、調整後EBITDA、営業利益、税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額、中間利益及び親会社の所有者に帰属する中間利益は、継続事業及び非継続事業の合算金額になります。そのためこれらの対前期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	7,484	5,524	5,421	72.4
2024年3月期	7,587	5,757	5,582	73.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	2.00	-	4.50	6.50
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	5.00	5.00

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2024年3月期の第2四半期配当（中間配当）は、創立25周年の記念配当です。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,200	10.0	400 ～550	- ～-

- (注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想の修正については、本日（2024年11月7日）公表した「業績予想の修正（営業利益の上方修正）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)ー、除外 ー社 (社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	17,491,265株	2024年3月期	17,491,265株
2025年3月期中間期	683,921株	2024年3月期	683,921株
2025年3月期中間期	16,807,344株	2024年3月期中間期	16,795,506株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は、公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトでも公開する予定です。

2024年11月7日（木） 18：00～

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書	6
(3) 要約中間連結包括利益計算書	7
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の状況

区 分	前中間期	当中間期	増減率
売 上 収 益	1,427百万円	1,546百万円	8.3%
調 整 後 E B I T D A	374百万円	489百万円	30.8%
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△3,546百万円	72百万円	—
税引前中間利益又は税引前中間損失(△)	△3,222百万円	△88百万円	—
親会社の所有者に帰属する中間利益又は親会社の所有者に帰属する中間損失(△)	△1,997百万円	△126百万円	—

<売上収益及び利益の状況>

当中間連結会計期間(2024年4月～9月。以下、「当中間期」)における当社グループの売上収益は、ソフトウェア事業が堅調に推移したことにより、前年同期比で8.3%増の1,546百万円となりました。

利益については、企業投資事業においてGorilla Technology Group社の全株式を売却したことにより損失を計上したものの、ソフトウェア事業の着実な成長が寄与した結果、営業利益72百万円となりました。営業活動以外では為替の影響により税引前中間損失88百万円、親会社の所有者に帰属する中間損失126百万円となりました。

また、2024年3月期に連結子会社の異動により前年同期の連結財務諸表の作成上、デザイン事業を非継続事業に分類しています。このため、売上収益、営業利益及び税引前中間利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しています。

<当社の報告セグメント>

当社は、「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。

《ソフトウェア事業セグメント》

	前中間期	当中間期	前年同期比
売 上 収 益	1,427百万円	1,546百万円	108.3%

<売上収益の状況>

データ連携ツール「Warp」は、ライセンスからサブスクリプション(月額課金)製品へのシフトが加速し、当中間期はWarp ビジネスにおけるサブスクリプション比率が22%(前年同期比115%)を記録しました。また、人事や会計システムとの連携ニーズが継続的に高まっていることに加え、ITシステム「2025年の崖」克服への対応に向けたノーコードツールへの引き合いが拡大、さらにはSAP2027年問題に伴うシステムリプレース需要も拡大し、前年同期比10%の増収となりました。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、新規受注に加えて導入先における利用規模の拡大や上位プランへの移行が広がっています。さらに、現場データと社内システムとの連携ニーズも加速し、前年同期比40%の増収となりました。

AI/IoTプラットフォーム「Gravio」は、マレーシアのAI企業Tapway社との事業連携により、共同開発したAI・IoTサービスの販促活動を進めています。

《投資事業セグメント》

Asteria Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じて、当社のソフトウェア事業と同じ「D4G」(Data, Device, Decentralized, Design for Green) 領域への投資を実施しており、その業績は、国際会計基準に基づき投資先の評価額の増減を計上しています。

	前中間期	当中間期	前年同期比
評価額の増減および売却損益(△は減少)	△3,803百万円	△271百万円	—

主に、AI開発のGorilla Technology Group社(米国NASDAQ上場)の全株式売却完了に伴う売却損が発生しました。

(2) 当中間期の財政状態の状況

資産、負債及び資本の状況

(資産)

当中間連結会計期間における資産合計は7,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円減少しました。主な要因は、現金及び現金同等物1,150百万円の増加に対し、その他の金融資産（主に投資有価証券）1,167百万円の減少によるものです。

(負債)

負債合計は、1,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円増加しました。主な要因は、その他の流動負債170百万円の増加によるものです。

(資本)

資本合計は5,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ233百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金186百万円の減少によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より、1,150百万円増加し、2,881百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は558百万円（前年同期30百万円の獲得）となりました。主にその他の費用271百万円（主に投資にかかる未実現損失）及び金融費用166百万円（主に為替差損）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は797百万円（前年同期165百万円の使用）となりました。主に投資の売却及び償還による収入337百万円及び貸付金の回収による収入471百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は184百万円（前年同期174百万円の使用）となりました。主に配当金の支払額75百万円、長期借入金の返済による支出71百万円、リース負債の返済による支出25百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年6月20日に公表した2025年3月期通期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想を修正しました。詳細は、本日（2024年11月7日）公表した「業績予想の修正（営業利益の上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,731,347	2,880,974
営業債権及びその他の債権	176,719	180,814
棚卸資産	2,643	3,343
その他の金融資産	454,200	—
その他の流動資産	141,630	73,797
流動資産合計	2,506,539	3,138,927
非流動資産		
有形固定資産	938,202	838,669
無形資産	241,420	288,098
持分法で会計処理されている投資	133,205	124,510
繰延税金資産	292,907	325,654
その他の金融資産	3,295,411	2,582,692
その他の非流動資産	179,657	185,076
非流動資産合計	5,080,801	4,344,699
資産合計	7,587,340	7,483,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	242,800	242,800
営業債務及びその他の債務	113,125	112,247
未払法人所得税等	—	115,257
その他の金融負債	64,542	41,631
その他の流動負債	827,910	997,903
流動負債合計	1,248,377	1,509,837
非流動負債		
引当金	9,393	9,406
借入金	214,600	143,200
その他の金融負債	357,999	297,376
非流動負債合計	581,992	449,982
負債合計	1,830,369	1,959,819
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,522,045	2,522,045
自己株式	△505,334	△505,334
その他の資本の構成要素	746,648	770,997
利益剰余金	543,361	357,856
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,582,064	5,420,908
非支配持分	174,907	102,900
資本合計	5,756,971	5,523,807
負債及び資本合計	7,587,340	7,483,626

(2) 要約中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
継続事業		
売上収益	1,427,242	1,545,977
売上原価	120,785	167,753
売上総利益	1,306,457	1,378,225
販売費及び一般管理費	1,053,419	1,038,578
その他の収益	3,377	4,215
その他の費用	3,802,813	271,440
営業利益 (△は損失)	△3,546,399	72,422
金融収益	337,051	10,882
金融費用	7,549	165,536
持分法による投資損益 (△は損失)	△5,217	△5,960
税引前中間利益 (△は損失)	△3,222,114	△88,192
法人所得税費用	△715,762	66,669
継続事業からの中間利益 (△は損失)	△2,506,351	△154,861
非継続事業		
非継続事業からの中間利益 (△は損失)	161,329	—
中間利益 (△は損失)	△2,345,023	△154,861
中間利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△1,996,924	△125,874
非支配持分	△348,099	△28,987
中間利益 (△は損失)	△2,345,023	△154,861
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益 (△は損失)		
(円)		
継続事業	△128.50	△7.49
非継続事業	9.61	—
合計	△118.90	△7.49
希薄化後1株当たり中間利益 (△は損失)		
(円)		
継続事業	△128.50	△7.49
非継続事業	9.61	—
合計	△118.90	△7.49

(3) 要約中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益 (△は損失)	△2,345,023	△154,861
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	136,798	△113
純損益に振り替えられることのない項目合計	136,798	△113
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	221,568	13,074
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	221,568	13,074
その他の包括利益合計	358,365	12,960
中間包括利益	△1,986,657	△141,901
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,673,774	△85,522
非支配持分	△312,883	△56,378
中間包括利益	△1,986,657	△141,901

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前中間利益 (△は損失)	△3,222,114	△88,192
減価償却費及び償却費	88,787	114,611
金融収益	△337,051	△10,882
金融費用	7,549	165,536
持分法による投資損益 (△は益)	5,217	5,960
その他の収益	△3,377	△4,215
その他の費用	3,802,813	271,440
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△4,397	△4,095
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△149,832	△907
その他	5,908	5,584
小計	193,503	454,841
利息及び配当金の受取額	2,115	68,113
利息の支払額	△2,354	△2,822
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△66,528	37,609
非継続事業からの営業活動によるキャッシュ・フロー	△97,130	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,606	557,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93,031	△4,670
有形固定資産の売却による収入	—	62
無形資産の取得による支出	△284	—
貸付金の回収による収入	—	470,760
投資の売却及び償還による収入	—	336,771
投資の取得による支出	△64,050	—
その他	△6,822	△6,267
非継続事業からの投資活動によるキャッシュ・フロー	△355	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,542	796,657
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△71,400	△71,400
リース負債の返済による支出	△24,145	△25,000
配当金の支払額	△75,155	△75,299
非支配持分からの払込による収入	2,670	3,062
非支配持分への分配金の支払による支出	—	△15,629
非継続事業からの財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,203	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,232	△184,266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△309,168	1,170,130
現金及び現金同等物の期首残高	1,743,642	1,731,347
現金及び現金同等物の為替変動による影響	66,630	△20,504
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,501,103	2,880,974

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、「ソフトウェア事業」及び「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されています。

当社グループは、2024年3月8日開催の取締役会において連結子会社であるThis Place Limitedの全株式の譲渡を決議し、2024年3月22日に関係会社ではないThis Place Holdings Limitedに譲渡したため、これまでソフトウェア事業セグメントに含まれていたデザイン事業を非継続事業に分類し、セグメント情報から控除しています。これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報については、非継続事業を除いた継続事業のみの金額に組み替えて表示しています。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	1,427,242	—	1,427,242	—	1,427,242
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	1,427,242	—	1,427,242	—	1,427,242
セグメント利益(△は損失) (注2)	284,852	△3,834,536	△3,549,684	—	△3,549,684
その他の収益及び費用					3,286
金融収益					337,051
金融費用					7,549
持分法による投資損益(△は損失)					△5,217
税引前中間利益(△は損失)					△3,222,114
その他の項目					
減価償却費及び償却費	88,680	107	88,787	—	88,787

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	1,545,977	—	1,545,977	—	1,545,977
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	1,545,977	—	1,545,977	—	1,545,977
セグメント利益(△は損失) (注2)	374,110	△305,901	68,209	—	68,209
その他の収益及び費用					4,213
金融収益					10,882
金融費用					165,536
持分法による投資損益(△は損失)					△5,960
税引前中間利益(△は損失)					△88,192
その他の項目					
減価償却費及び償却費	114,521	90	114,611	—	114,611

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。